

令和 5年度 事務事業評価表（個票）

課名 健康推進部地域包括ケア推進課

作成日 令和 6年 8月 1日

概要	施策名	高齢者保健・福祉	基本目標	健康で福祉が充実したまち
	施策の目的	高齢者が住み慣れた地域で、人生の最期まで自分らしい生活を送ることができる社会を実現すること。		
施策の方向		地域生活を支える体制の整備		
令和 5年度 の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 遅延 <input type="checkbox"/> 進展なし	生活支援等サービスの体制整備に向けて、多様な主体の参画が求められることから、市と生活支援コーディネーターが協力して解決すべき事項を協議する第一層協議体と各日常圏域の課題とニーズの把握、その支え合いを推進するための協議機関である第2層の協議体による会議を行った。		
今後の方向性 (改善措置等)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善	定期的な情報の共有・連携強化の場として会議を実施していく。		

No.	事務事業名	活動指標名	単位	活動内容				コスト（事業費：千円）			
				令和 4年度 実績	令和 5年度 計画	令和 5年度 実績	令和 6年度 計画	令和 4年度 決算	令和 5年度 当初予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 当初予算
1	家族介護教室事業	家族介護教室開催回数	回	20	9	19	15	413	537	286	489
	要介護高齢者を介護する家族や近隣の援助者等が、介護方法や介護予防、介護者の健康づくり等についての知識・技術を習得することを目的とした教室を実施する。	家族介護教室参加人数	人	346	130	203	150				
								令和 7年度の優先度			
								<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> D
	令和 5年度 の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 遅延 <input type="checkbox"/> 進展なし	本事業は一部を委託して実施しているが、令和4年度は感染症対策で動画視聴形式で開催した教室があったため、定員数が増えたことにより参加者数が急激に増加した。令和5年度はオフライン型に戻ったことで前年度より参加者数は減少はしているものの、計画値は上回っている。								
事業区分	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託 <input type="checkbox"/> その他			今後の方向性 (改善措置等)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 今後も本事業について周知し、委託先を増やしていく。また、教室参加の募集については、広報やホームページでの周知と併せて市内居宅支援事業所にもチラシを配布するなど、より必要と考えられる対象に情報が届くよう工夫していく。						
計画対象	<input type="checkbox"/> 実施計画査定対象 <input type="checkbox"/> 行政改革対象										

No.	事務事業名	活動指標名	単位	活動内容				コスト（事業費：千円）			
				令和 4年度 実績	令和 5年度 計画	令和 5年度 実績	令和 6年度 計画	令和 4年度 決算	令和 5年度 当初予算	令和 5年度 決算	令和 6年度 当初予算
2	生活支援・介護予防サービス基盤整備事業	多様な主体間による連携強化のための勉強会・ワークショップ開催回数	回	15	15	15	15	9,751	10,279	9,637	11,083
	住み慣れた地域で、誰もが人生最期まで自分らしく生活できるよう生活支援サービスの体制整備を行う。地域ならではのサービス開発や、生活支援サービスを必要としている高齢者にサービスを迅速・適切に提供できるよう、生活支援コーディネーターや協議体の活動の中で取り組んでいく。										
								令和 7年度の優先度			
								<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> D
	令和 5年度 の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 遅延 <input type="checkbox"/> 進展なし	第2層生活支援コーディネーター6人とそれを取りまとめる第1層生活支援コーディネーター1人の合計7人を配置し、合計15回ワークショップを開催した。								
事業区分	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託 <input type="checkbox"/> その他			今後の方向性 (改善措置等)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 ワークショップ等であがった課題のうち必要なものは第1層協議体で議論し、地域住民や民間サービスと連携してサービスの創出など地域支援体制の強化を図る。						
計画対象	<input type="checkbox"/> 実施計画査定対象 <input type="checkbox"/> 行政改革対象										

※決算額については、端数処理により、他資料の決算額と差異が生じている場合もあります。